

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 24 年 2 月 6 日(月) 19 時 00 分～
3. 理事総数：8 名
4. 出席理事：比嘉靖、矢野俊恵、石川丈、土田真也、上江洲聖、田村浩介、波多野晶子、久貝明人  
※喜田浩司(事業部長)、山城峻(財務部員)、神山育子(事務局員)

## 【審議事項】

### 1) 比嘉会長

#### (1) 来年度の体制について：

嶺井監事・矢野副会長が県士会に置いての役職を 3 月いっぱい以降に降任。

後任の人選を検討。

⇒副会長については、現会長・副会長を除く理事 6 名の中から理事会内で決定していく。

監事については、総会で承認を得て決定。執行部案として人選を検討していく。

#### (2) 平成 23 年度後期総会について：

##### ① 議題について：

⇒第 1 号議案：平成 24 年度事業計画 第 2 号議案：平成 24 年度予算 第 3 号議案：監事について

##### ② 事業計画案について(別資料)：

⇒未提出の部は、2 月 23 日(木)までに修正し、事務局長までメールで提出。

##### ③ 予算案について(別資料)：

⇒2 月 23 日(木)までに、財務部・事務局で調整。

##### ④ 議長について：

⇒議長については矢野副会長が人選を担当。書記・議事録署名人については久貝事務局長が人選を担当。

### 2) 矢野副会長

沖縄県作業療法学会実施要綱(案)について：

⇒内容については継続検討。第 9 回学会実行委員の中から「総会内で承認を得て欲しい」との要望があった。

要望理由は「次期学会担当を決めやすくなる。そうなる事によって次期学会の準備を早期から始められる。」という趣旨と思われるが、学会運営に関して研究会間で意向に違いがあり、学術部にて話し合いを行っている段階。方向性が決まるまで保留としたい。

### 3) 波多野理事

OT フェア開催時期について：

例年の 9 月 25 日(OT の日)に一番近い日曜だと 9 月 22 日(土)・23 日(日)が連休であり、会場予約が困難かも知れない。学会(9 月 30 日(日)予定)との抱き合わせ案もだが、サンエー側から開催依頼もある為、「9 月 25 日(OT の日)に一番近い日曜」からずらしてもいいか。

⇒「9 月 25 日(OT の日)に一番近い日曜」でなくても構わない。基本的に 10 月開催を目処に、10 月の会場の空き状況をサンエーに確認する(10 月 14 日(日)を第 1 候補)。

### 4) 石川理事

研究会について：

⇒研究会の規定を各研究会代表と調整中。来年度は研究会代表者とのミーティングを年度計画として取り組んでいく。

### 5) 土田理事

#### (1) 第 1 回沖縄リハビリテーション栄養研究会「共催」の確認

実態は県士会としては後援(名称・広報)に近いように感じるが、「共催」の研修会として生涯教育基礎ポイント 2 ポイント/1 日の取り扱いでよいか？

※協会規定では「主催・共催」は 90 分以上 1 日は 2 ポイント扱い

→ (  よい  SIG として協会に登録。1 ポイントの扱いとする  ポイントの対象外とする )

※先方からの文書での依頼がなくメールのみでのやりとりになっている為、今後は先方からの依頼文書がない場合に当士会から依頼できるような文書の作成を検討していく。

### 6) 喜田部長

訪問リハ特設委員会の確認について：

⇒3 団体の運営担当で話し合い、予算案作成済み。3 団体会長で負担比率を協議中。

## 7) 久貝理事

### (1) 会員動向について：

退会届提出 1 件あり⇒退会で承認。

### (2) コンビニ収納代行システムの導入について：

2 月に入っているが会費納入が 65.4% 台に止まっている(ここ数年 70% 台)。このような状況が続けば経済的に士会運営が困難になる事が予想される。会費納入率向上の為にコンビニ収納代行システムを導入したい。  
⇒総会での承認が必要だが、理事会としては導入およびプリンター購入を承認。

#### ① 代行業者：沖縄情報システム

→他 2 社と情報交換したが、県外企業の為やり取りに時間がかかり、料金も高かった。

#### ② 料金(年間)：導入年度 249,115 円(1 件当たり 345 円)、2 年目以降 148,315 円(1 件当たり 205 円)。

#### ③ 納入率予測：昨年度 35 士会のデータより

- ・コンビニ振込利用 6 士会：84% (66～95%)
- ・銀行等引落とし利用 13 士会：93% (84～100%)
- ・銀行等振込、現金 17 士会：84% (60～100%) ※100%の 1 士会を除けば 79%

#### ④ 引落としを選択しなかった理由：

- ・より早期に導入できる：全会員の口座情報を揃えるのには時間がかかる。
- ・窓口を絞る：他の金融機関にも口座を開設する必要がある為管理が煩雑になる可能性がある。
- ・運営サイドの手間を省く：ATM まで足を運ばないとできない入金確認を事務局 PC からの閲覧で行える。
- ・その他：沖縄情報システムの代行システムは琉銀のみ取り扱いなので、口座の新規開設の必要がない。  
払込伝票は会費納入以外の用途でも作成可能(学会や研修会参加費等も OK)。

#### ⑤ 準備等：

- ・機器：レーザープリンター(バーコードの読み取りの関係でインクジェットプリンターは×)。
- ・4 月運用なら 2 月から準備に入る必要がある。
- ・入会手順の検討(「会費納入して入会届提出」→「入会届提出して会費納入」のパターンも必要)。

## 【報告事項】

### 比嘉会長

1) 士会長会議より：第 33 回九州合同理学療法・作業療法学会 (in 福岡) の参加者数 1858 名 (会員 1237 名、非会員 51 名、学生 570 名) であった。次年度の学会開催は 11 月 17・18 予定 (in 長崎)  
H24 年 4 月付けで、佐賀県士会が一般社団法人、大分県士会が公益社団法人移行となる。

### 事務局

局長：久貝明人

1) 会員動向について：沖縄赤十字病院より住所変更の届けがありました(新住所：那覇市与儀 1-3-1)。  
※県士会からの郵送物の一部が旧住所宛になっており返送されていました。

### 2) 受理文書について

都道府県士会ニュース(兵庫、石川、福岡、奈良、群馬、神奈川、東京、山口)、学会誌等(佐賀、山梨)、他団体ニュース(沖縄県 PT 士会、沖縄脊損連合会、沖福連)、「地域での一貫した子育て支援、発達支援の充実を目指して」後援依頼(琉球リハビリテーション振興協会)、「社団・財団法人の実務」のご案内(政府刊行物普及協会)、おきなわ学童だより(沖縄県学童保育支援センター)、第 4 回県民健康公開講座「楽しく、元気なからだづくり」の後援についての報告(沖縄県医師会)、「臨床を介した臨床実習指導へ～評価・到達点～」後援依頼(リカレントラーニング研究会)、平成 23 年度卒業式のご案内(沖縄リハビリテーション福祉学院)、平成 23 年度卒業証書授与式のご案内(柳川リハビリテーション学院)、OT 協会臨時総会委任状提出へのご協力について(OT 協会)、研究大会後援のお礼について(沖縄県介護支援専門員協会)

3) 法人移行について：財務に関する記載を会計打ち合わせ(1/20)の際に確認。

4) 県・法務局への登記について：2 月 16 日(木)予定。

5) 平成 24 年度日本 OT 協会会員管理システム接続士会募集について：接続申請予定(3 月 31 日締め切り)

6) 平成 23 年度「士会現況調査」について：教育部・事業部・福利部に協力依頼→2 月 20 日までに返信をお願いします。

### 財務部

部長：比嘉孝子

#### 1) 会費について

会費収入 5 件 63,000 円(今年度納入率 65.4% 昨年度 67.2%)

2) 入金迷子について：10/27 1 名 21,000 円 11/8 1 名 14,000 円

3) 会計打ち合わせ：1 月 20 日(金)

4) 財務打ち合わせ：1 月 9 日(月)

※今後は山城氏・嘉数氏(沖縄リハビリテーション福祉学院)と引継ぎ作業を進めていく。

※今年度最後の会計打ち合わせが3月27日。この日以降の支出がないようにしてください。

学術部

部長：石川丈

1)研究会 FAX 送信済み。

2)九州士会長会合同研修会について

H24年2月4～5日に鹿児島県において開催され、71名のOTが「後輩育成におけるコーチング」について研修を行った。  
これまで主催士会は2年で交代だったが、今後は3年で交代になる(来年度担当は福岡：3年目)。

教育部

部長：土田真也

1)事例検討会② 1月22日に開催した。

事例検討参加者11名、事例報告参加者4名。

アドバイザー：小林彰さん(宮里病院)、知花貞幸さん(沖リハ学院)

収入 94,000円(参加費14,000円+県士会補助80,000円)

支出 19,149円(交通費、消耗品費、諸謝金)

※賃借料がゼロ。沖リハ学院の免除規定を利用。

事例検討については今年度より「一度受講済みの会員が参加する場合、サブアドバイザーとして入ってもらうことに同意された場合は参加費免除ならびに講師ポイントの発行」とのルールを設けたが、今回その規定では1年目でも該当するケースが発生。今回参加費は免除。ポイントは発行せず。次年度より「一度受講済みの会員」ではなく「基礎コースを終了している会員」とする予定。受講証明の要らない会員は受講料で段階付けを検討していく。

2)23年度ポイントシールの配布

請求が遅れていて配布できていない分(共通研修・事例検討会①の講師)、裁量ポイント、その他を整理・配布していく。

この件に関連して

①部での県士会活動への従事者・協力者のリストアップ→教育部へ連絡をお願いします。※学会関連はリスト回収済みです。

②タウンミーティング参加者を県士会共催研修会参加と扱おうと思っています(2ポイント)。リストの提出をお願いいたします。

事業部

部長：喜田浩司

1)来年度の事業部長職について。

喜田部長が訪問リハ特設委員会委員長に就任するに伴い、事業部長は降任。後任者は未定。

広報部

理事：田村浩介

特に無し。

福利部

部長：桑江良貴

1)2012年度年間スケジュール表について：各部で確認。

渉外部

部長：矢野俊恵

1)沖縄県医療保健連合主催の県民健康フェアの企画について：

県民健康フェア開催予定日時・会場：平成24年8月19日(日)・てんぷす前広場(那覇市)

シンポジウム等を行わない。PT・STと隣り合ってブースを出す事を検討中。

次回実行委員会議2月15日。事業部へ実務の協力を要請。

2)県内養成校卒業式 沖リハ(3月4日)：出席者未定 琉リハ(3月10日)：出席者未定

保険部

部長：上江洲聖

HPへ情報をアップしていく。

その他：九州士会長会合同研修会の報告(喜田事業部長)

伝達講習に止まらず、講師の島袋氏に県士会として研修会を依頼してもいいのではないかとの意見が挙がる。研修会を開催するなら6月を予定。